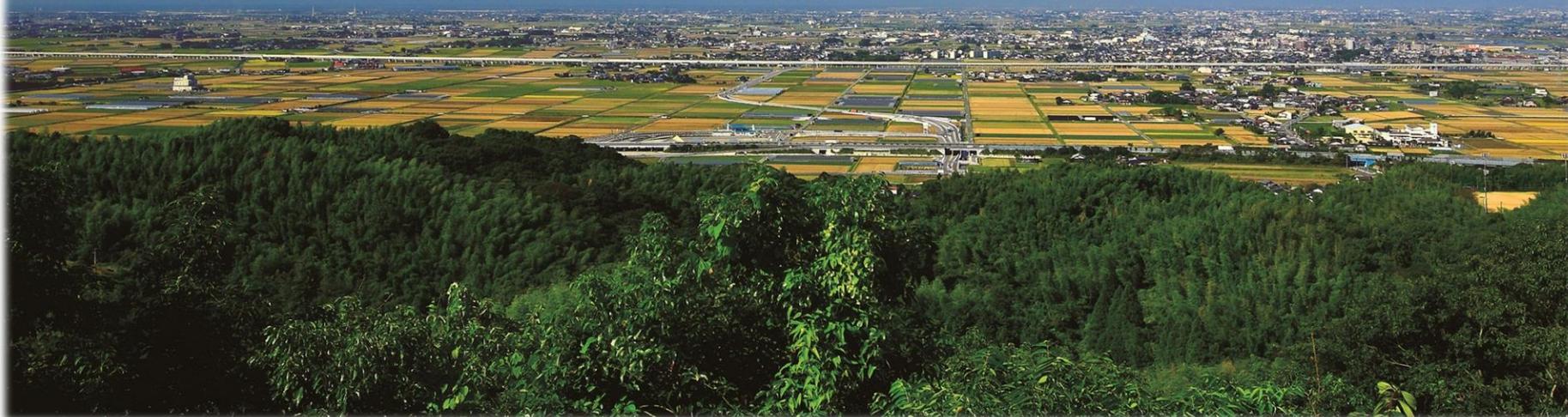


エネルギーの地域循環に向けた取り組みと J-クレジットの活用方針について



2021年2月12日

みやまスマートエネルギー

日本初！自治体による低圧電力売買事業会社

みやまスマートエネルギーは、みやま市が出資している第三セクターです。(2015年3月設立)

資本構成		
株主名	出資額	割合
福岡県みやま市	11,000千円	95.07%
筑邦銀行	570千円	4.93%
 みやま スマートエネルギー	8,430千円	
合計	20,000千円	100%

地域の
再生可能エネルギーを
地域の中で使う



未来へつながる、持続可能な地域へ

エネルギーの地域循環に向けた取り組み(1)

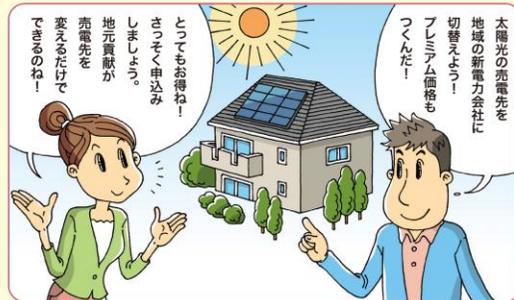
地域のFIT電気 買取事業



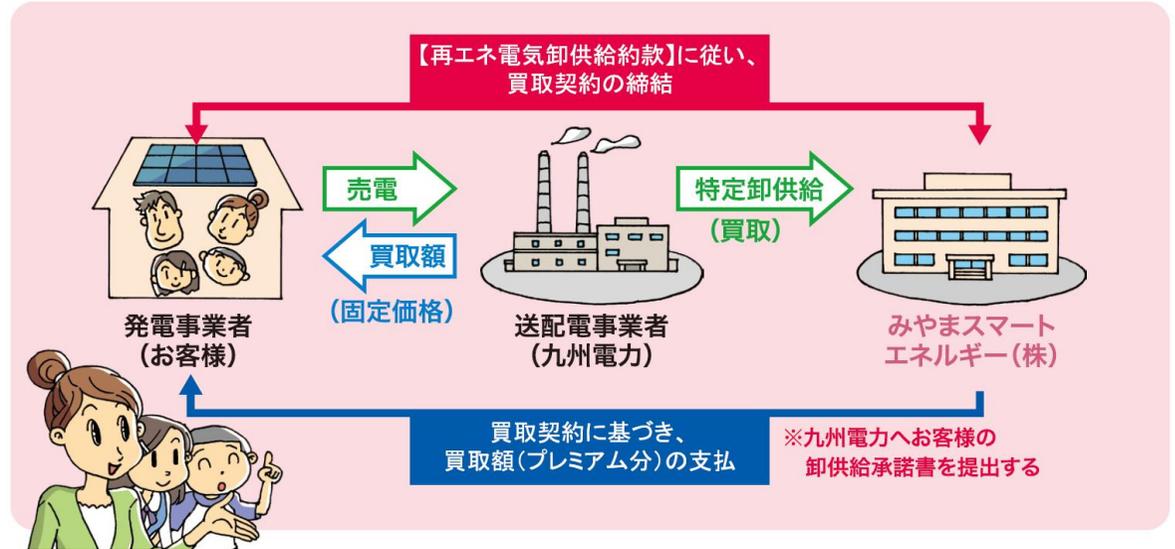
FIT電気買取サービス

みやま^ひでんき 契約者の方限定
(太陽光余剰電力買取事業)

『電力の地産地消』の第一歩は、
太陽光の売電先変更です
(1kWhあたり1円[※]のプレミアム価格で買取を実施)



条件を満たした低圧50kW未満(余剰配線)の設備が買取対象です



2015年11月より太陽光発電の買取を開始!!
(FIT価格より1kWあたり1円高く)

公共施設に電力を供給している、みやま市・柳川市・大木町にて買取

エネルギーの地域循環に向けた取り組み(2)

地域の卒FIT電気 買取事業

固定買取期間(FIT)が2019年11月以降順次、終了。

買取価格 (消費税10%込)	みやま ^ん でんき 電気契約者	8.03円/kWh
	電気契約なし ※みやま市・柳川市・大木町限定	7.70円/kWh
買取エリア	福岡県みやま市、柳川市、大木町	

2019年11月より卒FIT電気の買取を開始!!
(九州電力の買取価格より1.03円高く)

太陽光発電を売電されている方へ、大切なお知らせです。

再生可能エネルギーの固定買取期間が
2019年11月以降順次、終了します。

2009年から開始された「再生可能エネルギーの固定価格買取制度(FIT)」は、
2019年以降10年間の買取期間が順次満了を迎えることとなります。

みやま^んでんき
(太陽光余剰電力買取事業)

買取申込
受付中!

卒FIT電気買取サービス

その①
自家消費を増やす

その②
個別に契約して売電

固定買取期間満了後の卒FIT電気は、
ふたつの活用方法があります。

蓄電池・エコキュートや電気自動車など
組み合わせて自家消費を増やす。

九州電力や小売電気事業者と個別に契約を
結び直して余剰電力を売電する。

引き続き売電をお考えの方はエネルギーの地産地消に役立てませんか?
『あなたの太陽光発電を、地域の発電所へ!』

そこで…『みやまスマートエネルギー』は、
あなたの卒FIT電気を最大8.03円/kWhで買い取ります!

FIT電気と卒FIT電気を合わせて、約280件の地域再エネを買取中

地域の再エネを活用した電気供給等の方針

脱炭素化に向けた2つの方針

方針 ①

卒FIT電気と環境価値

方針 ②

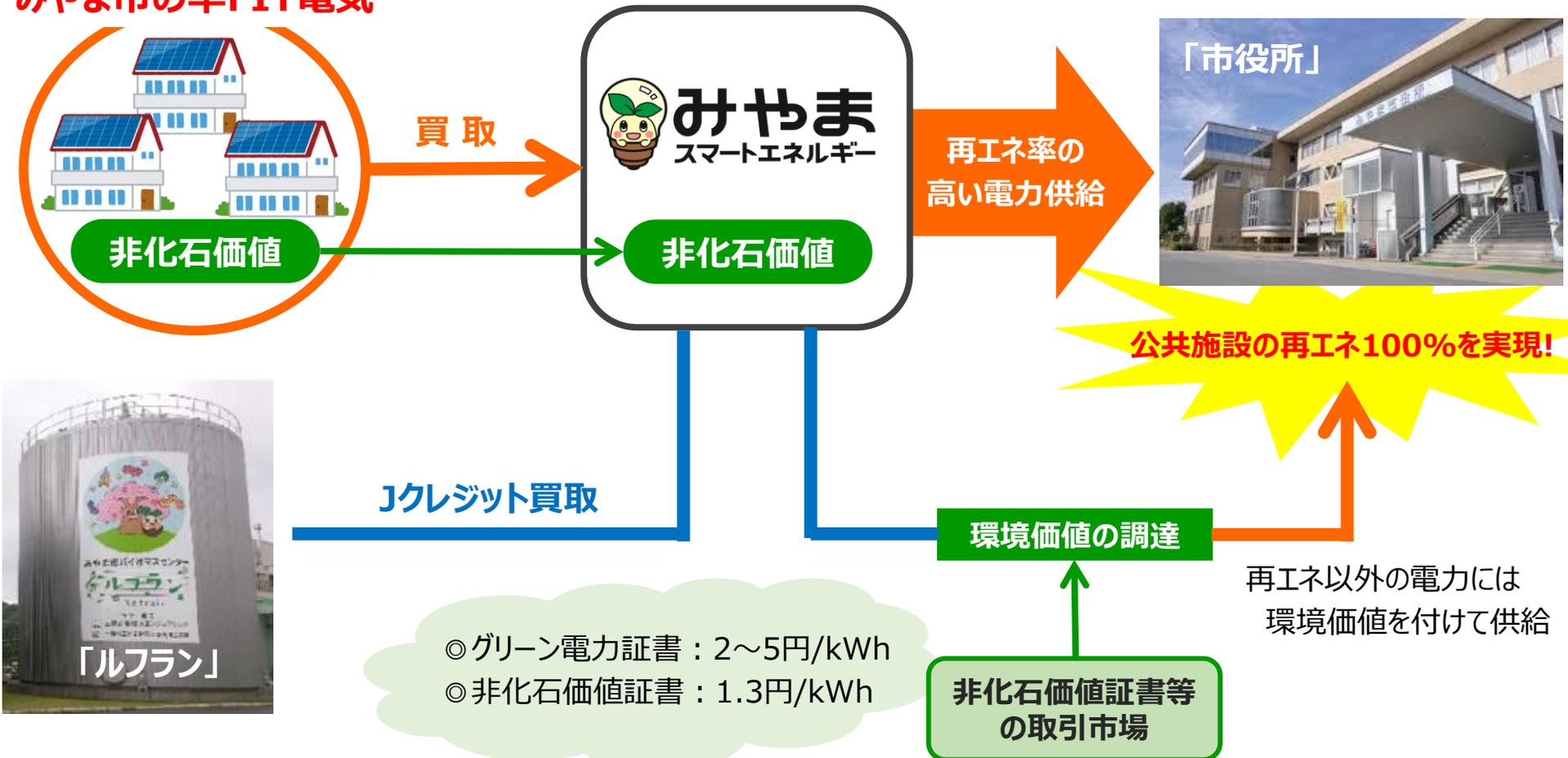
自家消費と自己託送

地域の再エネを活用した電気供給等の方針

① 卒FIT電気とJクレジット活用による環境価値

卒FIT電気の非化石価値とJクレジット等の証書調達と合わせ再エネ100%の電気供給。

みやま市の卒FIT電気



地域の再エネを活用した電気供給等のロードマップ

エネルギーの地域循環を実現するための取り組み

取り組み-1 ▶ 地域周辺の卒FIT電気の買取促進(Jクレも活用)

- 自治体と協働にて募集活動をおこない、積極的に域内の卒FIT電気を買取る。Jクレなどの活用も検討する。

取り組み-2 ▶ PPA(第三者所有)モデルの構築

- 太陽光発電や蓄電池等の高額機器の設置を軽減するため、供給電力等で課金するスキームを構築する。

取り組み-3 ▶ アグリゲーションビジネスへの挑戦

- 地域の分散型電源を活用した、再エネの供給調整や防災時の電力レジリエンス支援等の機能を取得する。



再エネを活用して地域循環、脱炭素社会の実現を目指す！